

みなさまからの声 (2011年5月6日)

○年金切り下げの上、介護や医療保険の切り下げは困ります

2月からJAL企業年金が3割強減額されました。収入の落ち込みはやはりショックです。

所得税、固定資産税、自動車税に加え住民税の請求がきます。そのたびに心臓がドキッとします。

乏しい貯金も目減りして行く一方です。病気にならずに頑張らねばなりません。

老後は厚生年金と企業年金以外の収入がありません。恵まれている事とはいえ不安はつづきます。

ヨーロッパでは国によっては年金に加え、医療保険、介護、住宅等のしっかりした社会保障があるためにそれなりに安心して老後を過ごせると聞いています。

わが国では、社会保障と税の一体改革を検討する「集中検討会議」とやらで財政が厳しいから、年金、介護をはじめとした社会保障の切り下げ、消費税の値上げなどが論議されているようです。

年金減額が行われたようにハット気がついたら改悪を余儀なくされていたでは納得出来ません。

政治のやることに関心を持っていないといつも泣き寝入りになります。

高齢者も若い人も安心して暮らせるよう声を上げたいですね。

○一昨日、年金給付変更通知書が届きました。

新年金額は、1,341,700円でした、10年保証ですが、以前、原資の額が通知されたのが、2600万円余りでした、これでは、20年間、で無いと、元が取れません、今、小生は満70歳です、90歳まで、往き続ける必要があります。なんとなく、割れきれない気持ちです。

○あの西松 前社長が城西国際大学経営情報学部の教授になったそうです。

「破産法」でも教えるならともかく、経営学やリスクマネジメントを教えるようです。会社を破綻させた張本人が「JAL前社長」として人前に出られる、その無神経、厚顔無恥ぶりには空いた口が塞がりません。

<http://www.elneos.co.jp/> (西松前社長が同大学教授になったことを報じる情報誌)

<http://www.jiu.ac.jp/visitors/students/class/tw.pdf> (同大学の時間割)